

事業シート（概要説明書）

予算事業名	伝統産業・地場産業活性化支援事業費	事業開始年度	平成19年度
上位施策事業名	地域資源を活用した産業の振興	担当部局	農水商工部
根拠法令	伝統的工芸品産業の振興に関する法律、三重県指定伝統工芸品指定要綱	担当室	科学技術・地域資源室
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	グループ名	地域資源活用グループ
事業の必要性・実施の背景	<p>伝統産業・地場産業は、地域の風土や文化と密接に結びつき、地域経済の活性化のみならず、地域アイデンティティ形成の要素となるなど重要な産業である。しかしながら、特に伝統産業は生活文化に密着したものが多く、近年の消費者のライフスタイルの変化や景気悪化などの影響により、消費が縮小してきている。このような状況のなかで、伝統産業・地場産業を活性化していくには、事業者自らの創意工夫によりライフスタイルの提案とあわせた販路拡大や、新たなアイデアを取り入れた新商品開発などを行っていく必要があるが、小規模事業者が多い伝統産業・地場産業にとってはリスクの大きいものとなっている。</p> <p>また、長年受け継がれてきた「伝統の技術」は、地域にとっての重要な資産であるが、後継者不足により途絶えることが懸念されており、その継承は、重要な課題となっている。</p>		
目的 (何をどうするために)	<p>伝統産業・地場産業に取り組む事業者や団体等の、新商品開発や人材育成、販路拡大等への積極的な取組を促進し、地域産業としての維持・拡大を図る。</p>		
目標 (何がどうなれば達成か)	<p>伝統産業・地場産業に取り組む事業者や団体等が、新商品開発、展示即売会などを活用した販路拡大、後継者の育成等を実現させ、地域産業の活性化に繋げることができるようになる。</p>		
対象 (誰・何を対象に)	<p>伝統産業・地場産業の活性化、高付加価値化等に積極的に取り組む事業者や産地組合等の団体</p>		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者: )		
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金〔 <u>直接</u> ・間接〕 (補助先・実施主体: 各事業者、産地組合 )		
	<input type="checkbox"/> 貸付 (貸付先: ) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (負担金 )		
事業内容 (手段、手法など)	<p>1 伝統産業・地場産業活性化支援事業費補助金                  伝統産業・地場産業に携わる事業者及び組合等の団体が実施する高付加価値化・新商品開発、販路拡大、人材養成、戦略策定にかかる事業に対し、補助金を交付する。                  補助金額 50万円以上200万円以下                  補助率 1/2以内                  補助金総額 11,500千円</p> <p>2 展示即売会等に対する負担金                  ・伝統的工芸品月間事業負担金 440千円 (県事業者出展枠確保のための負担金)                  (H22年度: 山口県萩市民会館・来場者数約30千人/事業者負担金 無し)                  ・伝統的工芸品展事業負担金 420千円 (同上)                  (H22年度: 東京都東武百貨店池袋店・来場者数 約103千人/事業者負担金 有り)                  ・ドームやきものワールド負担金 500千円 (主催者としての分担金)                  (H22年度: 愛知県ナゴヤドーム・来場者数 約136千人/事業者負担金 有り)</p> <p>3 その他                  工業研究所等が伝統産業・地場産業に属する事業者を対象に、技術・デザイン等に関するセミナー等を開催する。 500千円</p>		
関連事業 (同一目的事業等)	なし		

事業概要

※当該事業以下に細事業がある場合は、事業費とともに記載

事業シート (概要説明書)

予算事業名		伝統産業・地場産業活性化支援事業費				事業開始年度		平成19年度		
コスト		23年度 (予算)		22年度 (決算)		21年度 (決算)		20年度 (決算)		
	需用費	552 千円		152 千円		425 千円		223 千円		
	役務費	146 千円		10 千円		5 千円		4 千円		
	負担金、補助及び交付金	12,860 千円		13,134 千円		11,940 千円		9,536 千円		
	その他	1,302 千円		983 千円		629 千円		1,611 千円		
	事業費合計	14,860 千円		14,279 千円		12,999 千円		11,374 千円		
	人件費	担当正職員	0.3 人	2,702 千円	0.3 人	2,855 千円	0.3 人	2,841 千円	0.3 人	2,803 千円
		臨時職員等	0.0 人	0 千円	0.0 人	0 千円	0.0 人	0 千円	0.0 人	0 千円
		人件費合計	0.3 人	2,702 千円	0.3 人	2,855 千円	0.3 人	2,841 千円	0.3 人	2,803 千円
		総事業費	17,562 千円		17,134 千円		15,840 千円		14,177 千円	
財源内訳	国庫支出金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円		
	地方債	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円		
	その他特財	1,360 千円		1,330 千円		1,830 千円		2,207 千円		
	一般財源	13,500 千円		12,949 千円		11,168 千円		9,167 千円		
	財源合計	14,860 千円		14,279 千円		12,998 千円		11,374 千円		
事業実績	【活動指標名】		単位	H22年度	H21年度	H20年度				
	① 伝統産業・地場産業活性化事業計画策事業業者数 (採択件数)		件	15 (11)	14 (11)	10 (9)				
	② 展示会費用負担件数		件	3	3	3				
	効率指標 (事業費/活動指標)		総事業費 / ①+②		952	932	1,091			
事業成果	【成果指標名】		単位	H22年度	H21年度	H20年度				
	① 試作品・新商品作成数		点	21	21	1				
	展示会等出展回数		力所	8	9	20				
	人材育成人数		人	5	7	4				
	② 展示会出展事業者数		件	18	15	16				
事業の自己評価 (今後の事業の方向性、課題等)		<p>後継者育成については、人材育成講座の受講者の9割以上が地元の伝統産業に就職するなど高い効果が得られている。また、販路開拓についても、商談の機会の増などにより確実に売上が増加するなどの効果をあげている。新商品の開発については、短期的な売上の増加にはつながりにくい事業であるが、最新技術との融合により新たな展開を見出す余地を秘めている。</p> <p>今後は、これらの実績をふまえて、県外さらには海外も見据え、市町など地域との連携を深め、感性価値など新たな価値創造に着目した伝統産業・地場産業のブランド化を推進し、地域の知名度向上や、地域のブランド価値の向上につながるような取組を進めていく必要がある。</p>								
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛知県 1,780千円 (展示会負担金等)</li> <li>・岐阜県 2,645千円 (展示会負担金、事業者補助金等)</li> <li>・滋賀県 14,282千円 (事業者補助金、展示会負担金等)</li> <li>・福井県 51,889千円 (事業者補助金 (研究開発・販路開拓・人材育成)、販売店補助金、販路開拓事業、調査事業、展示会負担金等)</li> <li>・石川県 52,400千円 (事業者補助金 (新商品開発・研究、海外市場展開)、若手作家出展補助、国内外展示会出展費補助、いしかわ伝統工芸フェア開催費補助、セレクトショップ・ネット通販マッチング支援、若手工芸家奨励金、商品提案力育成事業)</li> <li>・京都府 261,700千円 (人材育成、普及啓発・魅力発信、海外・国内販路開拓支援、産地組合補助、国際交流、新しいものづくりの展開及び新たな販路開拓 他)</li> </ul>								
特記事項 (事業の沿革等)		<p>平成19年度～20年度については「地域産業創造活性化事業費」として、地域産業全般に関する支援制度としてスタートし、平成21年度からは、限られた予算で効果を出すため、対象業種を伝統産業・地場産業に特化した現行の事業にリニューアルした。その後、事業実施による効果と波及効果を考慮し、平成23年度からは、組合又は2社以上の連携事業のみを補助対象とする等、制度の改善を随時図ってきた。</p>								